

市町村名	久米島町
------	------

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 -	久米島町循環型農業促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				農林水産物の安全・安心の確立
				- 1 - (6)

事業内容	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築するため、町営堆肥センターの生産性の向上を図り、堆肥活用促進の機能強化を行う。				
------	---	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	27年度(繰越)
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	17,174	-	21,098	19,700	-
	(b)予算現額	26,880	-	21,589	12,312	-
	(c)増減額(b-a)	9,706	-	491	7,388	-
	(d)繰越額	-	15,917	0	-	10,097
	A.計(b+d)	26,880	15,917	21,589	12,312	10,097
	B.執行済額	10,963	15,631	21,589	2,215	9,612
	うち交付金充当額	8,770	12,505	17,271	1,772	7,689
	次年度繰越額	15,917	-	0	10,097	0
	執行率(%) (B/A)	40.8%	98.2%	100%	18.0%	95.2%
予算の状況の説明	本年度は、クレーン付セルフ車及び堆肥筋撒機を導入を行った。予算については機械の規格等により7,388千円の減となった。不用額の485千円は入札によるものである。クレーン付セルフ車は当初、車体の最大積載量を4トンで予定していたが、ユニックの架装重量や運搬する重機、堆肥の積載量を勘案すると4トン車では積載過重となってしまう恐れがあったため、車両規格の選定に不測の日数を要し、入札が遅れたため、納期が翌年度に繰越となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度
		目標	(1台)	()	()	()
運搬車両(1台)の導入	実績	1台				
	目標	(1機)	()	()	()	
堆肥すじ撒き機(1機)の導入	実績	1機				
	達成状況説明	平成27年度に堆肥すじ撒き機1台導入。平成28年度にユニック付セルフ車1台を導入した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
		目標	()	(2台)	()	()	()
		実績		2台			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	堆肥すじ撒き機は平成28年3月に導入完了し、翌4月より共用が開始されている。ユニック付セルフ車は平成28年6月に納入完了し、同月より共用を開始している。農業機械2台の導入により、原料の回収を含めた堆肥製造・運搬の効率が向上した。						

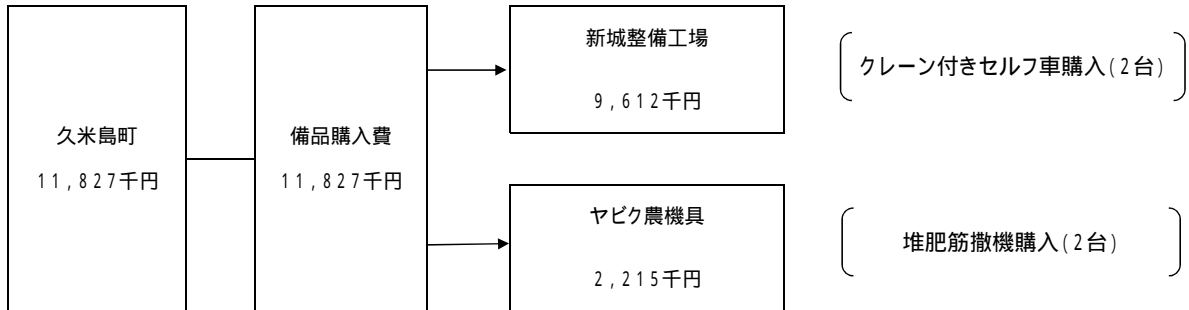
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回、堆肥すじ撒き機を導入したことで、堆肥利用者のニーズに応えることができ、堆肥利用の促進に寄与できた。またクレーン付セルフ車を導入したことにより、原料の牛糞回収及び堆肥の配達時の時間短縮を図ることができ、堆肥製造効率の向上が図られた。	既存の堆肥センターでは袋詰め機も製造しているが、既存の袋詰め機が耐用年数を経過しており、湿度等の天候状態により袋口の圧着の不具合が度々生じているので、今後は袋詰め機の更新を検討していく必要がある。

今後の取り組み方針

平成28年3月及び6月より供用開始しており、今後も製糖工場及び各農家(さとうきび、野菜、花卉、畜産)等、関係機関と連携を密にし、堆肥の生産性向上に努めることで地力の向上を促進し、かつ循環型農業の拠点として運営していく。また、堆肥の質も向上してきており更なる機能強化を図ることで、地力回復に寄与していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,827	11,827	9,461	2,366	0



資金の流れ、費目、使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>予算規模については不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町								
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	5 -	球美の島エコアイランド化推進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進			
事業内容	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。								
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()				
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	27年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	73,479	-	38,472	-	32,648	56,592	-
		(b)予算現額	73,479	-	35,094	-	35,201	56,592	-
		(c)増減額(b-a)	0	-	3,378	-	2,553	0	-
		(d)繰越額	-	66,864	0	6,970	0	0	36,316
		A.計(b+d)	73,479	66,864	35,094	6,970	35,201	56,592	36,316
		B.執行済額	6,615	66,341	28,124	6,970	35,201	20,276	36,287
		うち交付金充当額	5,292	53,072	22,499	4,542	28,161	16,220	29,030
		次年度繰越額	66,864	0	6,970	-	0	36,316	0
		執行率(%) (B/A)	9.0%	99.2%	80.1%	100%	100%	36%	100%
予算の状況の説明	工事に使用する一部資材の需用が集中したことにより資材発注から納期まで約3ヶ月かかる見込みとなったため、工期の見直しが必要となったことから、年度内の完了が困難となり、繰り越すこととなったが、当初計画していた事業内容をすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正と考えている。								
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況							
			24年度	25年度	26年度	27年度			
	約400灯のLED防犯灯を整備・設置	目標	(委託・工事)	(委託・工事)	(委託・工事)	(委託・工事)			
		実績	委託・工事	委託・工事	委託・工事	委託・工事			
	目標	()	()	()	()				
		実績							
達成状況説明	水銀灯約1650本のうち1213灯(H24:310、H25:210、H26:286、H27:373)はLED灯へ移行した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)		
		目標	()	(18%)	(31%)	(43%)	(70%)	()	
	実績		18%	31%	48%	72%			
	目標	()	()	()	()	()	()		
	実績								
	進捗状況説明	当初計画のとおり目標を概ね達成できたと共に消費電力の削減及びCO2の低減が図られた。							

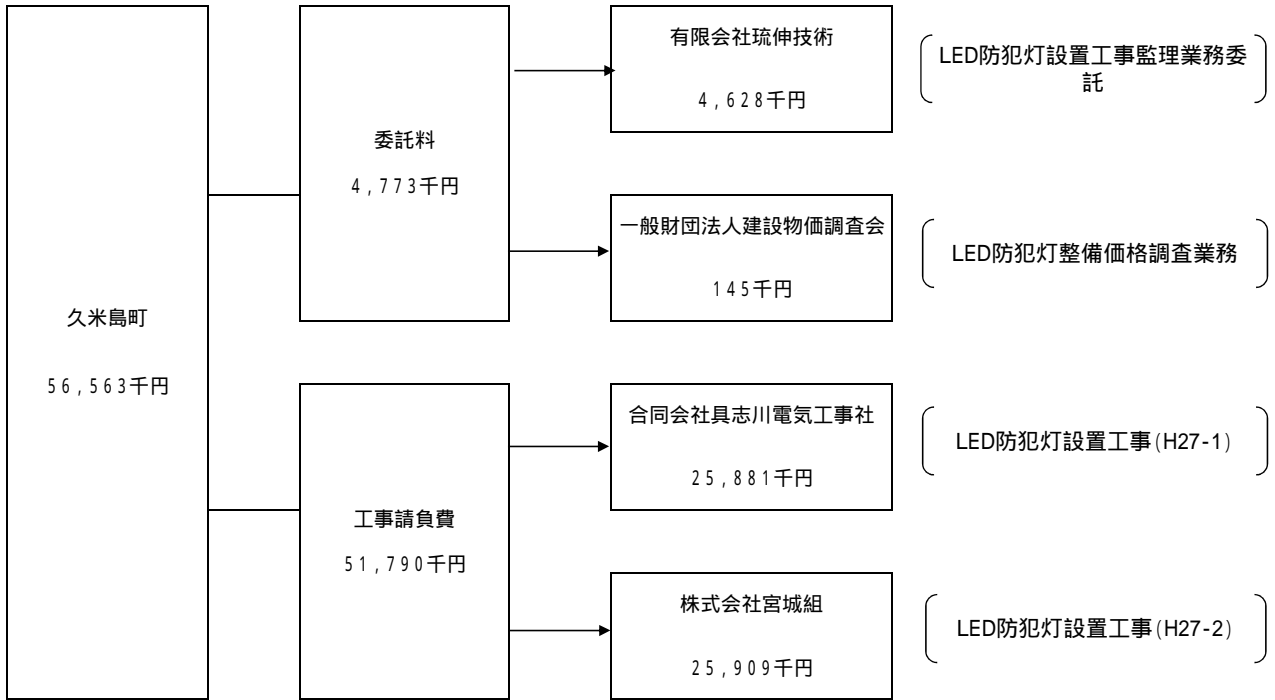
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	LED灯は設置箇所選定の地域との調整作業に時間を要したが、概ね地域の要望に応えることができた。	LED灯への移行を計画的に実施し消費電力の削減及びCO2削減を図ると共に、事業終盤ということもあるため一般町民へ更なる『低炭素島しょ社会の実現』を意識したCo2削減のPR活動等も必要と思われる。

今後の取り組み方針

引き続き水銀灯からLED灯へ早期移行を図りCo2削減を推進し、今後は更なるCO2削減に向けたPR活動等の取組も行って行きたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
56,563	56,563	45,250	11,313	0



資金の流れ、費目・用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者・施工業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 不用額はなく適正な予算規模であった。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について確定時において支出の等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町
------	------

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5 -	球美の島緑化推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度	陸域・水辺環境の保全
			沖縄振興基本方針該当箇所	-10-(1)

事業内容	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。
------	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	27年度(繰越)	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	56,353	-	50,000	-	35,000	39,415	
		(b)予算現額	56,353	-	47,138	-	35,902	39,500	
		(c)増減額(b-a)	0	-	2,862	-	902	85	
		(d)繰越額	-	44,765	0	28,616	0	0	2,115
		A.計(b+d)	56,353	44,765	47,138	28,616	35,902	39,500	2,115
		B.執行済額	11,588	13,061	18,523	28,538	35,902	36,571	2,115
		うち交付金充当額	9,270	10,449	14,818	22,830	28,721	29,256	1,691
		次年度繰越額	44,765	-	28,616	-	0	2,929	0
		執行率(%) (B/A)	20.6%	29.2%	39.3%	99.7%	100%	93%	100%
		予算の状況の説明	品種登録申請予定の植物について、桜を品種登録するためには咲き終えた後(5月頃)の分析も必要ことから平成28年度に繰越した。当初計画していた事業内容をすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正と考えている。						

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
ツツジゾーン、ツバキゾーン造成及び植栽工事の実施	目標	(実施設計)	(造成工事)	(ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事)	(ツツジゾーン、ツバキゾーン造成・植栽工事)
	実績	実施設計	造成工事	ツツジゾーン造成工事	多目的ゾーン造成及び植栽工
固有種等花木の品種登録	目標	()	()	()	(2品目)
	実績				2品目
達成状況説明	平成27年度は、多目的ゾーンの造成及び管理用道路、排水施設、散水施設、張り芝の植栽工を行った。固有種等花木の品種登録については、さくらの2品目の品種登録願書を作成し農林水産省に種苗法第5条1項の規定に基づき出願した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
		目標	()	(実施設計)	(ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事完了)	(ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事完了)
	実績		実施設計	ツツジゾーン造成工事完了	多目的ゾーン造成及び植栽	
	目標	()	()	()	(品種登録)	()
実績				品種登録		
進捗状況説明	目的ゾーン内の造成、管理用道路、排水施設、張り芝工を完了することができた。固有種等花木の品種登録については、さくらの2品目の品種登録願書を作成し農林水産省に種苗法第5条1項の規定に基づき出願した。					

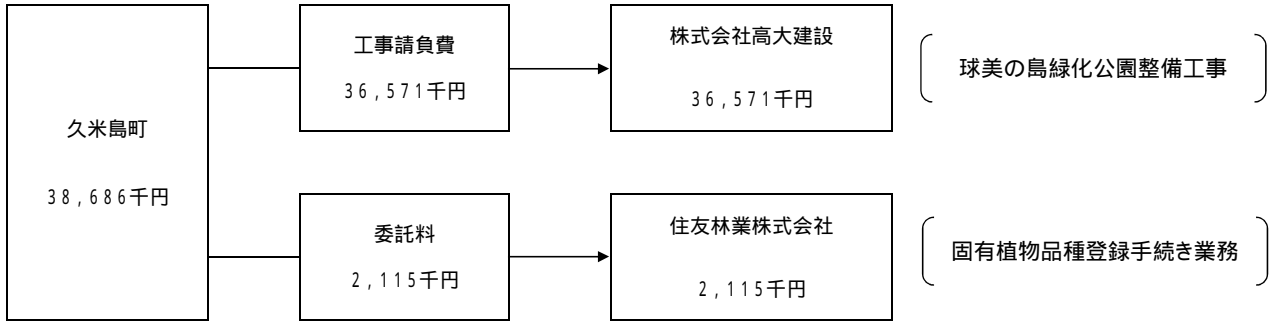
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	久米島原産のクメノサクラが、沖縄本島の本部で大規模な植栽により関心を集め観光的にも寄与している。 久米島には、クメノサクラ以外にも新種の桜があり本事業を活用し品種登録を行うことにより久米島の桜のPR、本事業で整備している公園に植栽して観光資源に活用出来る。	固有種として、種苗法第5条1項の規定に基づき農林水産省に出願中である。 今後、久米島の桜としてPRし、桜まつり等のイベントを行うには、大量的に植栽、管理をして行く必要がある。 固有種の保存の取り組みと同時に島内住民及び観光客がみて楽しめるよう、専門家だけでなく、観光協会などとの連携強化を図る。

今後の取り組み方針

久米島の桜としてPRする為に大量的に植栽、管理を行い桜祭り等のイベントに繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
38,686	38,686	30,947	7,739	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事施工業者指名競争入札により企業組織、知識等を助案した上で選定しており、妥当であると考えている。 委託業者は、品種識別の技術を確立しており品種識別・組織培養の特許を持っているということで選定したため、妥当であったと考えている。 予算規模については適正な規模であったと考えている。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要性等について額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	